

三種監発—17

令和元年8月7日

三種町長 田川政幸様

三種町監査委員 田中金光

三種町監査委員 松渕秀和

平成30年度三種町公営企業会計決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成30年度三種町公営企業会計決算について審査したので、次のとおり審査意見を提出します。

## 平成30年度三種町公営企業会計決算審査意見

### 第1 審査の概要

---

#### 1 審査の対象

平成30年度三種町水道事業会計決算

#### 2 審査の期間

令和元年7月26日（1日間）

#### 3 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類との照合等通常実施すべき審査手続を実施した。

なお、審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するように運営されたかどうかを検討するため、事業の経営分析を行った。

### 第2 審査の結果

---

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当事業の当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

#### 1 事業の概要

当年度末の給水人口は12,208人で、前年度に比べ355人（2.8%）減少しているが、年間総配水量は1,582,831 m<sup>3</sup>で、前年度より5,077 m<sup>3</sup>（0.3%）増加し、有収水量は1,241,059 m<sup>3</sup>で、前年度より35,529 m<sup>3</sup>（2.8%）減少している。

また、当年度における建設改良事業は、国道7号線拡幅に伴う鶴川地区配水管移設工事実施設計業務、三種川改修工事に伴う宮橋架け替えによる配水管移設工事実施設計業務及び長面2号線水道本管仮設工事のほか、老朽化等に伴う施設設備等の取替工事についても実施している。

## 2 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

収入額 298,108 千円（収入済額 277,975 千円、収入未済額 20,133 千円）、支出額 294,036 千円、差引額 4,072 千円の黒字である。

水道料の収入済額は 209,374 千円であり、調定額 224,119 千円に対する収入率は 93.4%（前年度 97.7%）となっている。

支出済額 294,036 千円は、予算現額 307,969 千円に対する執行率が 95.5%（前年度 98.8%）となっている。

#### 収益的収入

（単位：千円 [消費税込み]、%）

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
営業収益	234,607	229,548	209,433	20,115	91.2
給水収益	228,488	224,119	209,374	14,745	93.4
その他	6,119	5,428	59	5,370	1.1
営業外収益	68,332	68,487	68,469	18	99.9
受取利息及び配当金	30	10	10	0	100.0
一般会計補助金	16,930	16,930	16,930	0	100.0
加入金	586	694	676	18	97.4
長期前受金戻入益	50,785	50,827	50,827	0	100.0
雑収益	1	26	26	0	100.0
特別収益	3	74	74	0	100.0
過年度損益修正益	1	0	0	0	-
その他	1	74	74	0	100.0
固定資産売却益	1	0	0	0	-
合 計	302,942	298,108	277,975	20,133	93.2

## 収益の支出

(単位：千円 [消費税込み]、%)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	執行率
営業費用	260,762	251,672	9,090	96.5
原水及び浄水費	55,111	53,167	1,944	96.5
配水及び給水費	18,342	14,435	3,907	78.7
総係費	39,582	37,858	1,724	95.6
原価償却費	145,335	145,597	△ 262	100.2
資産減耗費	2,392	615	1,777	25.7
営業外費用	45,087	42,283	2,804	93.8
支払利息及び企業債取扱諸費	33,860	33,859	1	99.9
雑支出	20	0	20	0.0
消費税及び地方消費税	11,207	8,424	2,783	75.2
特別損失	120	82	38	68.3
過年度損益修正損	50	12	38	24.0
固定資産売却益	70	70	0	100.0
予備費	2,000	0	2,000	0.0
合 計	307,969	294,036	13,933	95.5

## (2) 資本的収入及び支出

収入額 96,585 千円、支出額 231,458 千円、差引額 134,873 千円の不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金により補填されている。

一般会計からの出資金は、94,759 千円（前年度 94,199 千円）である。

支出済額 231,458 千円は、予算現額 239,394 千円に対する執行率が 96.7%（前年度 99.9%）となっている。

### 資本的収入 (単位：千円 [消費税込み]、%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
企業債	0	0	0	0	-
出資金	94,759	94,759	94,759	0	100.0
一般会計出資金	94,759	94,759	94,759	0	100.0
固定資産売却代金	27	27	27	0	100.0
負担金	1,869	1,799	1,799	0	100.0
一般会計負担金	1,869	1,799	1,799	0	100.0
合 計	96,655	96,585	96,585	0	100.0

### 資本的支出 (単位：千円 [消費税込み]、%)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	執行率
建設改良費	46,511	40,576	5,935	87.2
固定資産取得費	1,365	1,364	1	99.9
企業債償還金	189,518	189,517	1	99.9
予備費	2,000	0	2,000	0.0
合 計	239,394	231,458	7,936	96.7

### 3 経営成績

総収益 281,152 千円、総費用 280,048 千円、当年度純利益 1,105 千円である。

これに前年度繰越利益剰余金△104,757 千円を加えた当年度末処分利益剰余金は、△103,652 千円である。

総収支比率は、総収益に対する総費用の割合を表す指標であり、数値が100%未満の場合、単年度赤字であることを示す。

当年度は 100.4%であり、前年度に比して 38.6 ポイント増加している。

営業収支比率は、給水収益等で維持管理費等をどの程度賄えているかを表す指標であり、数値は 100%を超えるほど良いことになる。

当年度は 86.4%であり、前年度に比して 2.0 ポイント増加している。

(単位：千円 [消費税抜き]、%)

区 分	当 年 度	前 年 度	増 減 額	増減率
総収益	281,152	286,704	△ 5,552	△ 1.9
うち営業収益	212,549	213,888	△ 1,339	△ 0.6
総費用	280,048	463,780	△183,732	△ 39.6
うち営業費用	246,108	253,393	△ 7,285	△ 2.9
当年度純利益	1,105	△ 177,076	178,181	△100.6
前年度繰越利益剰余金	△ 104,757	72,319	△177,076	△244.9
当年度末処分利益剰余金	△ 103,652	△ 104,757	1,105	△ 1.0
総収支比率	100.4	61.8	—	—
営業収支比率	86.4	84.4	—	—

## ○ 審査結果の総括

---

水道料金の収納率が 93.4%と前年度に比して 4.3 ポイント低下している。また、収入未済額も前年度比 11,407 千円の増加となり、平成 18 年以前の未済額が 38.4%を占める。未納者に対する適切な対応による収入率の向上に努めるとともに、未済額についても、徴収の可否判断を適切に行い最終処理を進められたい。

水道は、町民の日常生活や様々な事業活動に欠かせない重要なライフラインであり、常日頃から災害時の危機管理対策に万全を期するとともに、より効率的な事業運営に努め、高い安全性と信頼性を維持されたい。

収 入 未 済 額 集 計 表

(単位：円)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水道事業会計	30,668,436	31,474,538	42,881,888
水道料金	27,183,436	27,989,538	39,396,888
延滞金	3,485,000	3,485,000	3,485,000
合 計	30,668,436	31,474,538	42,881,888